



総合グラウンドの補完施設として 多目的運動場を整備

実施設計委託料を可決

全国大会レベルの運動場を整備せよ

黒田政徳議員 多目的

運動場の大きさは、縦74m、横46mというところですが、少年サッカーの全国大会が可能な大きさは80m×50mです。今はまだ実施設計の段階なわけですから、もう少し広げて全国大会レベルのものを整備してください。

中津公民館長 今回お

示したものは、あくまで基本構想的な位置づけのもので、ただいまのお話なども参考にしながら、それらの確保に努めていきます。

総合グラウンドの構造を改修せよ

渡邊正俊議員 多目的

運動場の整備が計画されていますが、その前に、調整池の役目をあわせ持ち、強い雨が降れば堤になってしまいうような総合グラウンドの構造を、まずもって改修すべきではないですか。

山田町長 グラウンド

に水がたまれば、2、3日で芝は傷みますので、今後改良できるものかどうか検討しながら進めています。

9月定例会 質疑

財政状況に見合った 事業展開を要望

9月定例会の質疑では、大規模な補正予算の必要性や新たに計画されている小規模宅地開発事業ならびに多目的運動場の整備などについて、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部をご紹介します。

本当に補正予算で対応すべき事業なのか

渡辺久長議員 今回の

補正予算は一般会計で4億4300万円、特別会計を合わせると5億円にもなります。

中でも土木費は、当初予算で7億円も計上しているにもかかわらず、新たに1億3700万円も追加されます。本当に補正予算で対応すべき事業なのか。

山田町長 事情により

遅れてしまった事業もあります。今回は不景気対策も含めて、雇用の問題等にも還元できるように努めますのでご理解願います。



町道苗代替線の整備状況を確認する監査委員

宅地造成費用を安価に抑えよ

渡邊正俊議員 小規模

宅地造成を行なうにあたっては、若者に宅地を供給できるよう安価に抑えるべきです。

桜田住宅から下水道等の配管をやり直すとなれば、町はさらに負債を抱えることになり。まず下北迫・大吹の宅地造成を急ぐべきです。

賀沢建設課長 住宅造

成にともなう下水道の状況については、小規模宅地造成等に配慮して町全体の下水道配管を見直していきたいと考えています。

したがって、それらの調査が終わって一定の結論が出るまでは、誤解が生じないよう慎重に対応していきます。



小規模宅地開発事業予定地（下北迫・大吹）